

証券コード

5020



JXホールディングス

2016年度 第3四半期決算説明資料

取締役 常務執行役員 大場 邦光

2017年2月7日



エネルギー・資源・素材の^{みらい}Xを。

JXホールディングス株式会社

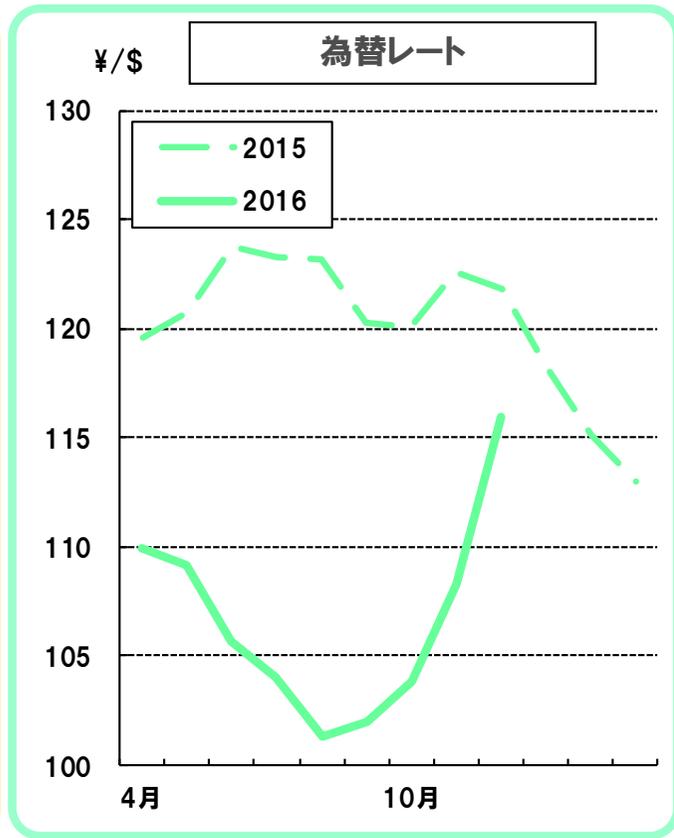
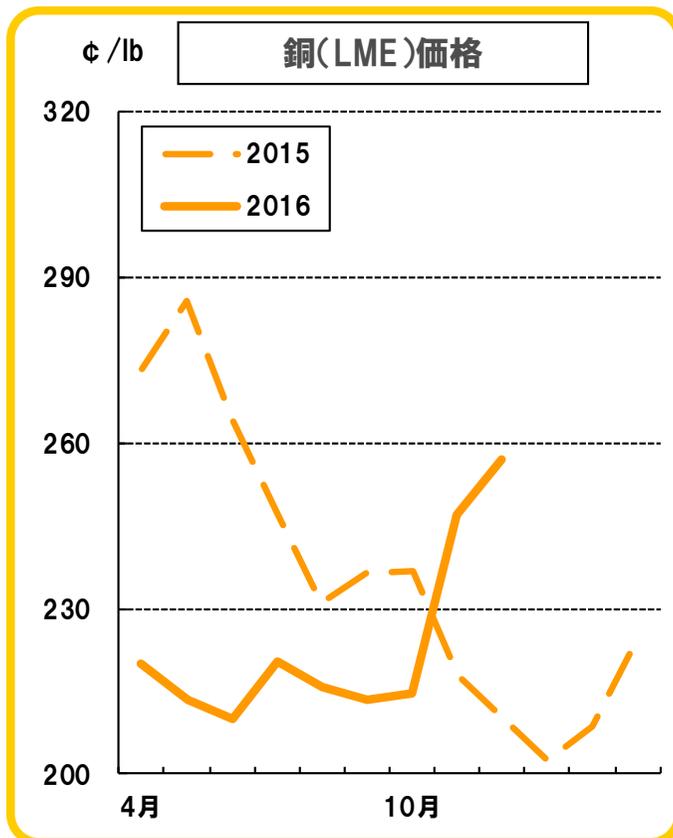
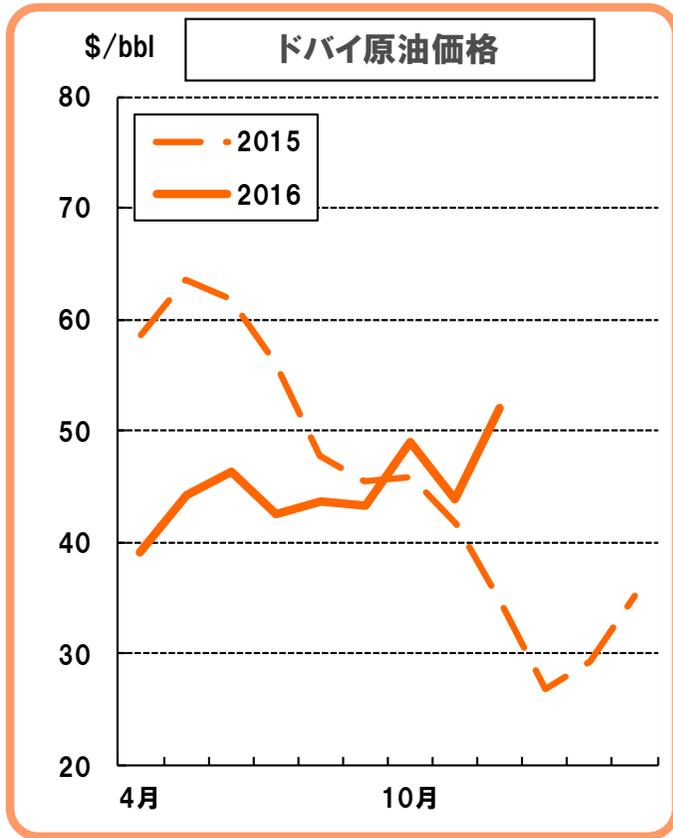
業績概況

- 事業環境
- 2016年度第3四半期決算
- 2016年度通期見通し
- カセロネス銅鉱山の状況

参考情報

- 2016年度の基本方針
- 2016年度の取り組み
- 主なトピックス
- 前提条件
- 感応度

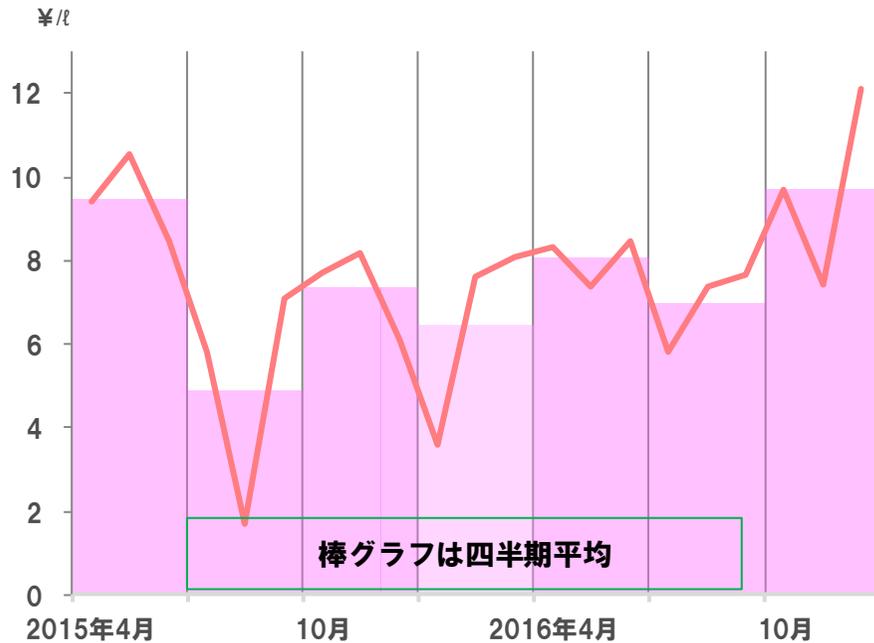
事業環境① 原油価格・銅価格・為替レート



事業環境② 白油4品・パラキシレンマージン推移

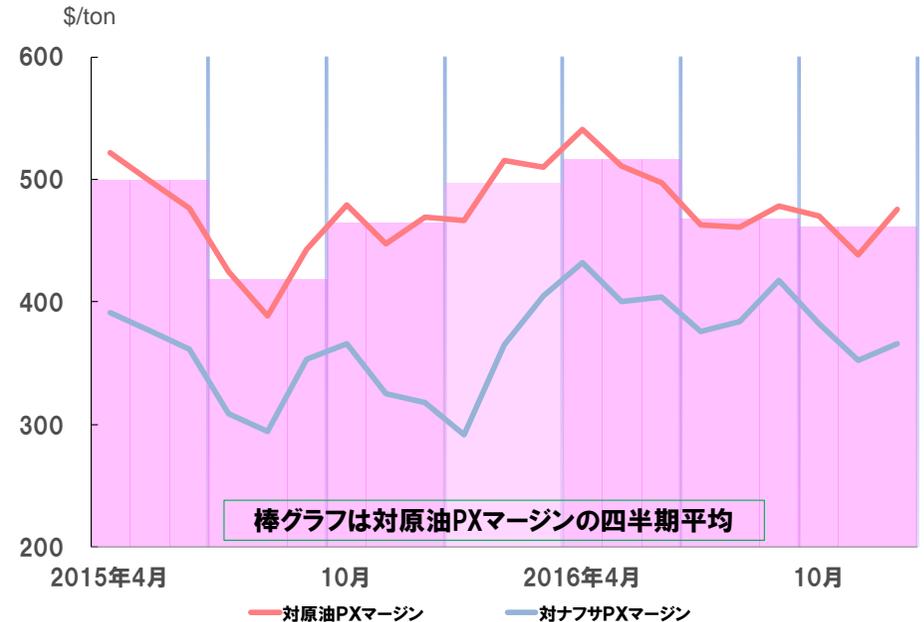


白油4品マージン推移



* スポット価格—全国通関原油CIF(石油税・金利含み)

パラキシレンマージン推移



* ACP未決の月については、スポット価格の平均値を使用

2016年度 第3四半期決算
(2016年4月1日～2016年12月31日)

2016年度 第3四半期決算概要 (前年比)

* 3月から11月の平均(与到着ベース)

原油代(ト'ハイ) (\$/B) *

銅 価 (¢/lb)

為替レート (¥/\$)

売上高

営業利益

営業外損益

経常利益

(うち在庫影響)

在庫影響除き経常利益

特別損益

親会社株主に帰属する当期純利益

2015年度 第3四半期 (実績)

53

暦年へ-ス	(259)	245
-------	-------	-----

暦年へ-ス	(121)	122
-------	-------	-----

(億円)

66,890

▲793

264

▲529

(▲2,116)

1,587

▲876

▲1,134

2016年度 第3四半期 (実績)

43

暦年へ-ス	(214)	224
-------	-------	-----

暦年へ-ス	(109)	107
-------	-------	-----

(億円)

57,774

1,709

205

1,914

(544)

1,370

▲244

945

差 異

▲10

▲19%

暦年へ-ス	(▲45)	▲21	暦年へ-ス	(▲17%)	▲9%
-------	-------	-----	-------	--------	-----

暦年へ-ス	(▲12)	▲15	暦年へ-ス	(▲10%)	▲12%
-------	-------	-----	-------	--------	------

(億円)

▲9,116

▲14%

+2,502

-

▲59

▲22%

+2,443

-

(+2,660)

(-)

▲217

▲14%

+632

-

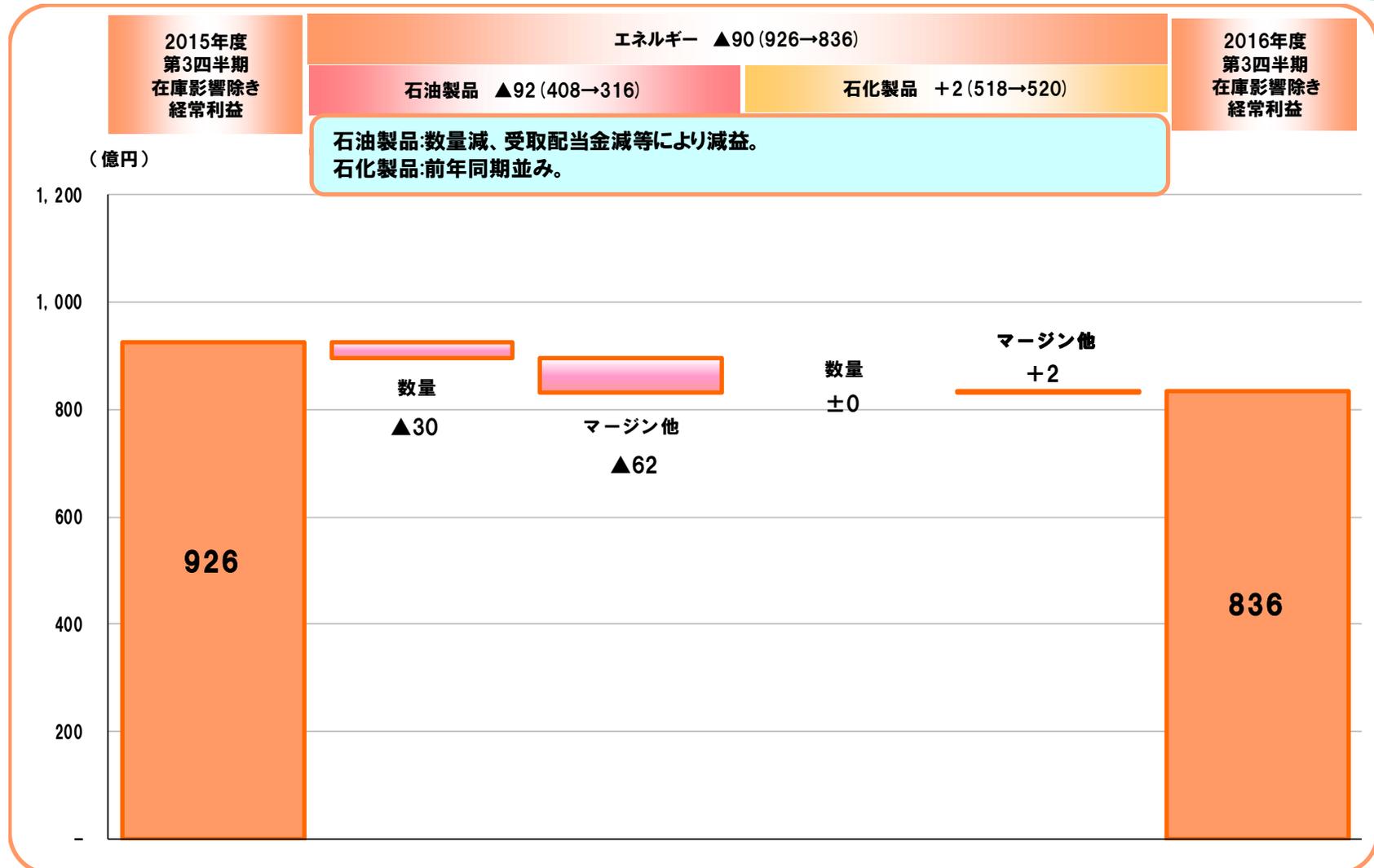
+2,079

-

2016年度 第3四半期 セグメント別経常利益（前年比）

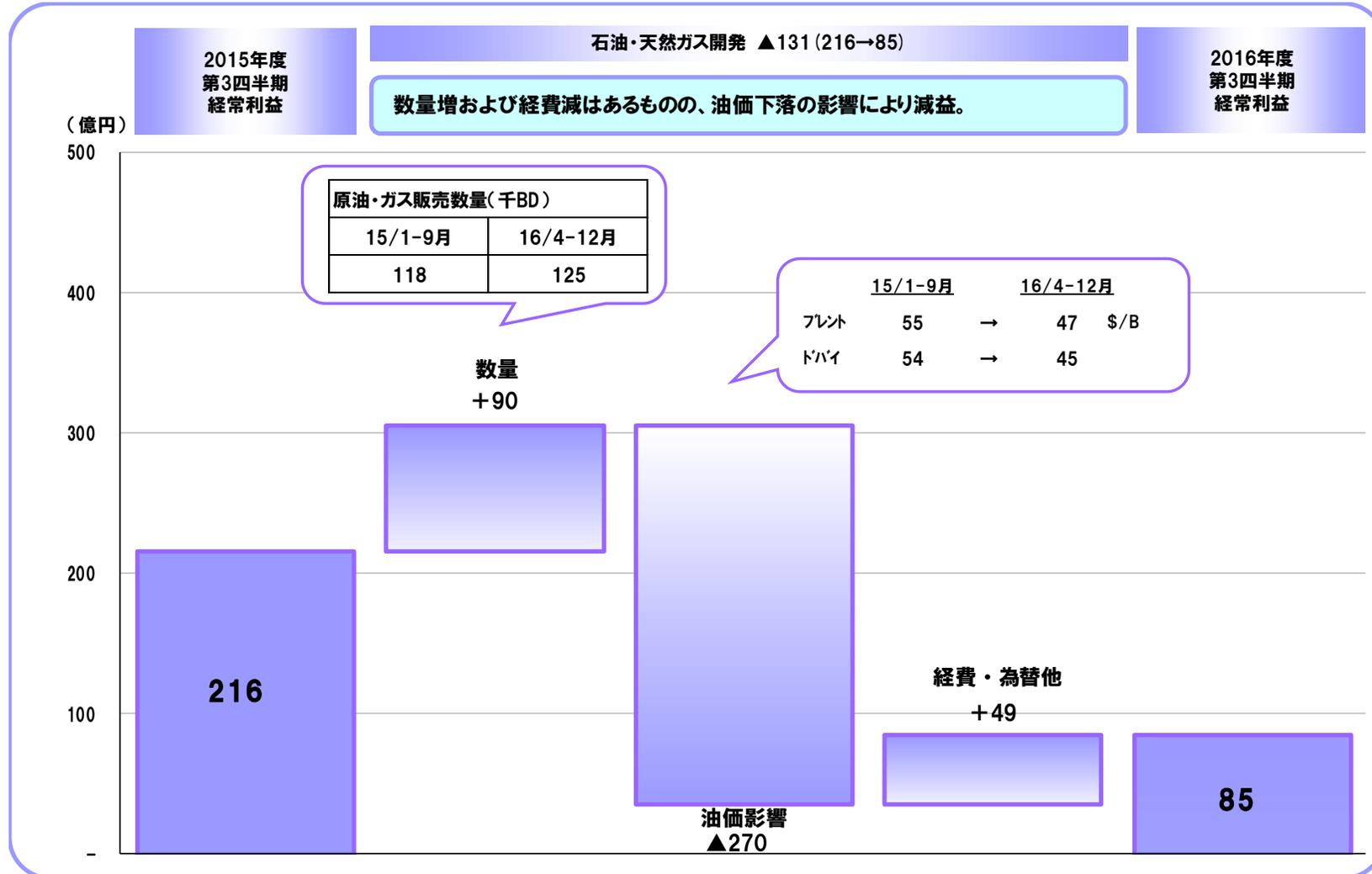
	2015年度 第3四半期 (実績)	2016年度 第3四半期 (実績)	差 異	
	(億円)	(億円)	(億円)	
エネルギー事業	▲1,155	1,398	+2,553	-
（うち在庫影響）	（▲2,081）	（562）	（+2,643）	-
在庫影響除き	926	836	▲90	▲10%
（うち石油製品）	（408）	（316）	（▲92）	▲23%
（うち石油化学製品）	（518）	（520）	（+2）	+0%
石油・天然ガス開発事業	216	85	▲131	▲61%
金属事業	88	112	+24	+27%
（うち在庫影響）	（▲35）	（▲18）	（+17）	-
在庫影響除き	123	130	+7	+6%
（うち上流）	（▲183）	（▲268）	（▲85）	-
（うち中下流）	（306）	（398）	（+92）	+30%
その他	322	319	▲3	▲1%
経常利益 計	▲529	1,914	+2,443	-
在庫影響除き	1,587	1,370	▲217	▲14%

2016年度 第3四半期 エネルギー事業 経常利益増減(前年比)

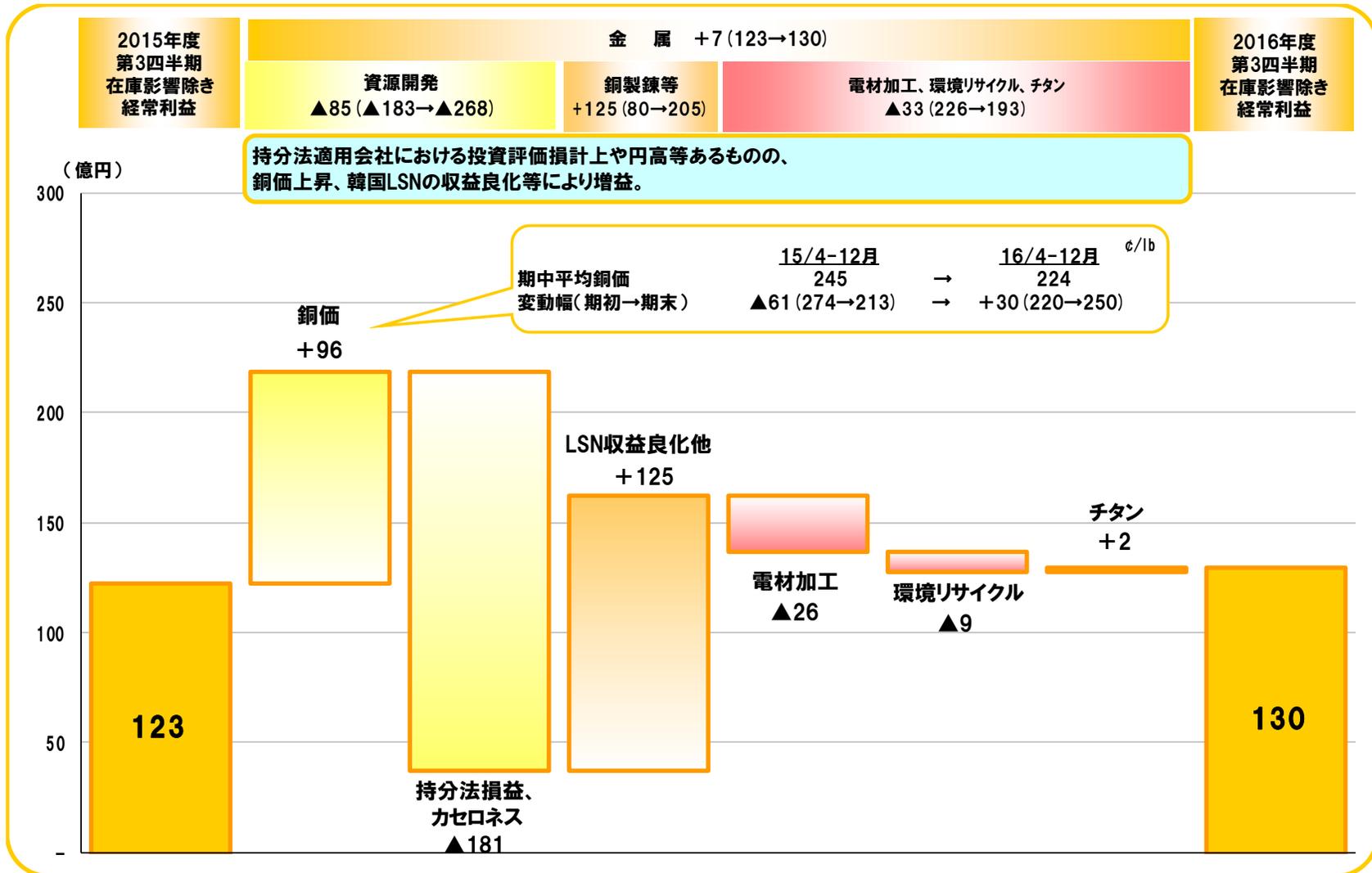


2016年度 第3四半期 石油・天然ガス開発事業 経常利益増減

(前年比)



2016年度 第3四半期 金属事業 経常利益増減(前年比)



2016年12月末 連結バランスシート

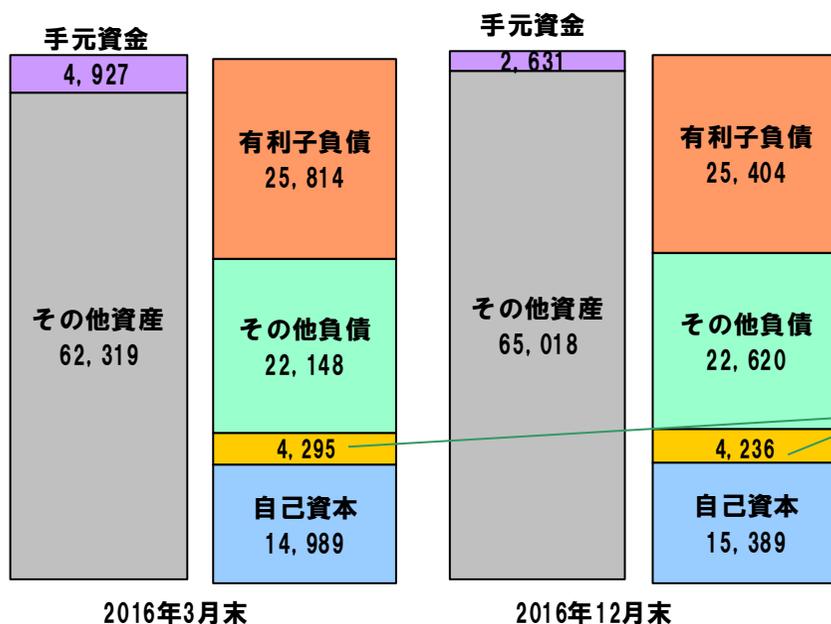
2016年度 第3四半期 連結キャッシュフロー

連結バランスシート

(億円)

総資産:67,246

総資産:67,649



手元資金を除いたネット有利子負債は1,886億円増加
(ネットキャッシュフローのマイナス[▲1,694億円]等により)

非支配株主持分

連結キャッシュフロー

(億円)

経常利益	1,914
減価償却費	1,732
運転資金増減ほか	▲2,639
営業キャッシュフロー	1,007
投資キャッシュフロー	▲2,093
フリーキャッシュフロー	▲1,086
配当他	▲608
ネットキャッシュフロー	▲1,694

	2016年3月末 (実績)	2016年12月末 (実績)
自己資本比率	22.3%	22.7%
ネットD/Eレシオ	1.39	1.48

2016年度決算見通し
(2016年4月1日～2017年3月31日)

- ✓ 2017年1月以降の見通し前提は、
為替レート 110円/ドル、原油価格 50ドル/バーレル、銅価 250セント/ポンド

2016年度 通期見通し 概要(前回見通し比)

* 3月から2月の平均(≒到着ベース)

原油代(トバイ) (\$/B) *

銅 価 (¢/lb)

為替レート (¥/\$)

売上高

営業利益

営業外損益

経常利益

(うち在庫影響)

在庫影響除き経常利益

特別損益

親会社株主に帰属する当期純利益

**2016年度
通期見通し
(11月公表)**

43

 暦年へ-ス
(213) 213

 暦年へ-ス
(108) 105

(億円)

80,000

1,900

400

2,300

(500)

1,800

▲450

1,000

差 異

+2

 暦年へ-ス
(+8) +17

 暦年へ-ス
(+1) +3

(億円)

+1,300

+800

▲100

+700

+600

+100

+50

+500

**2016年度
通期見通し
(今回)**

45

 暦年へ-ス
(221) 230

 暦年へ-ス
(109) 108

(億円)

81,300

2,700

300

3,000

(1,100)

1,900

▲400

1,500

**(参考)
2015年度
通期実績**

47

 暦年へ-ス
(250) 237

 暦年へ-ス
(121) 120

(億円)

87,378

▲622

536

▲86

(▲2,695)

2,609

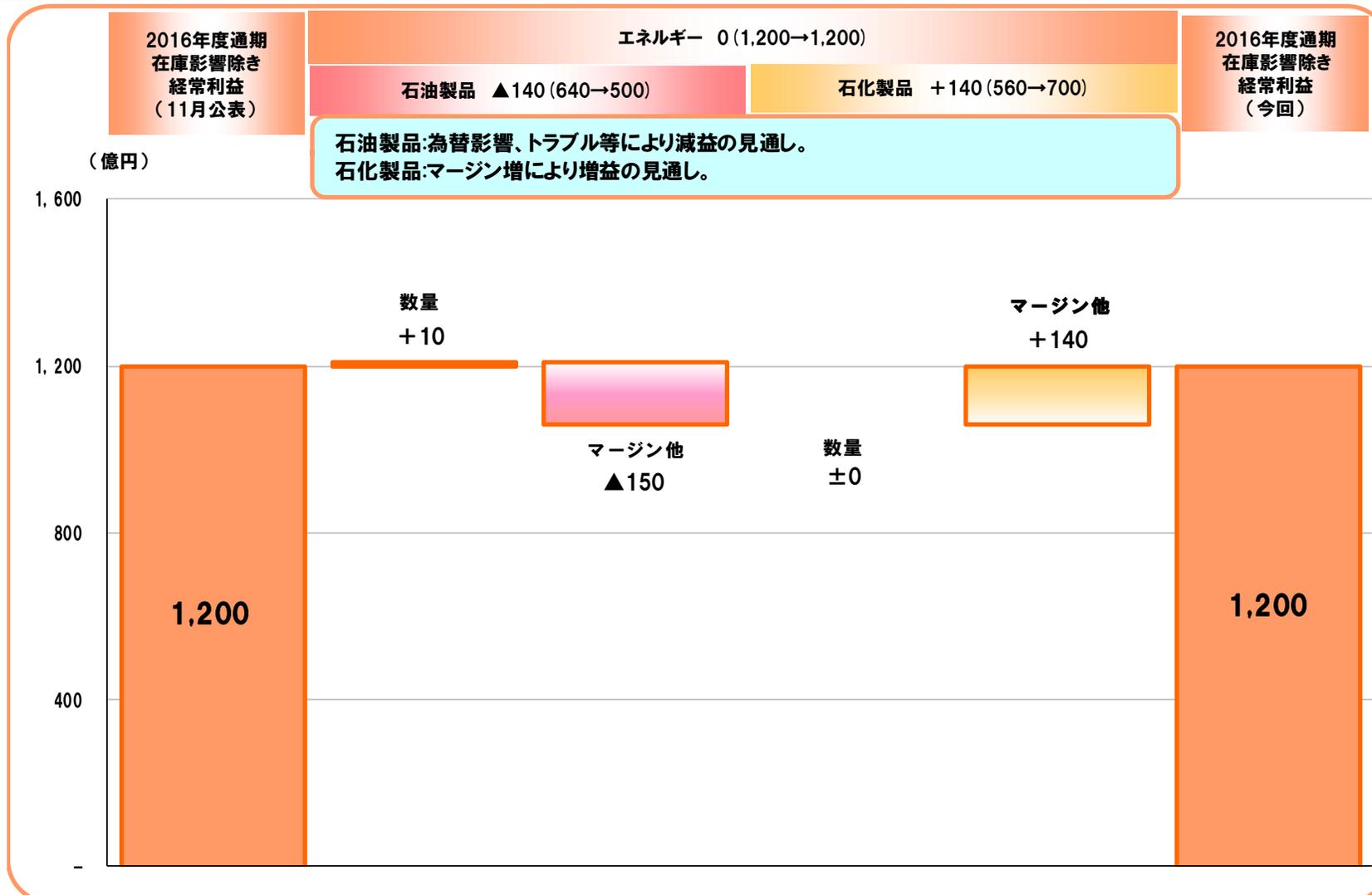
▲3,214

▲2,785

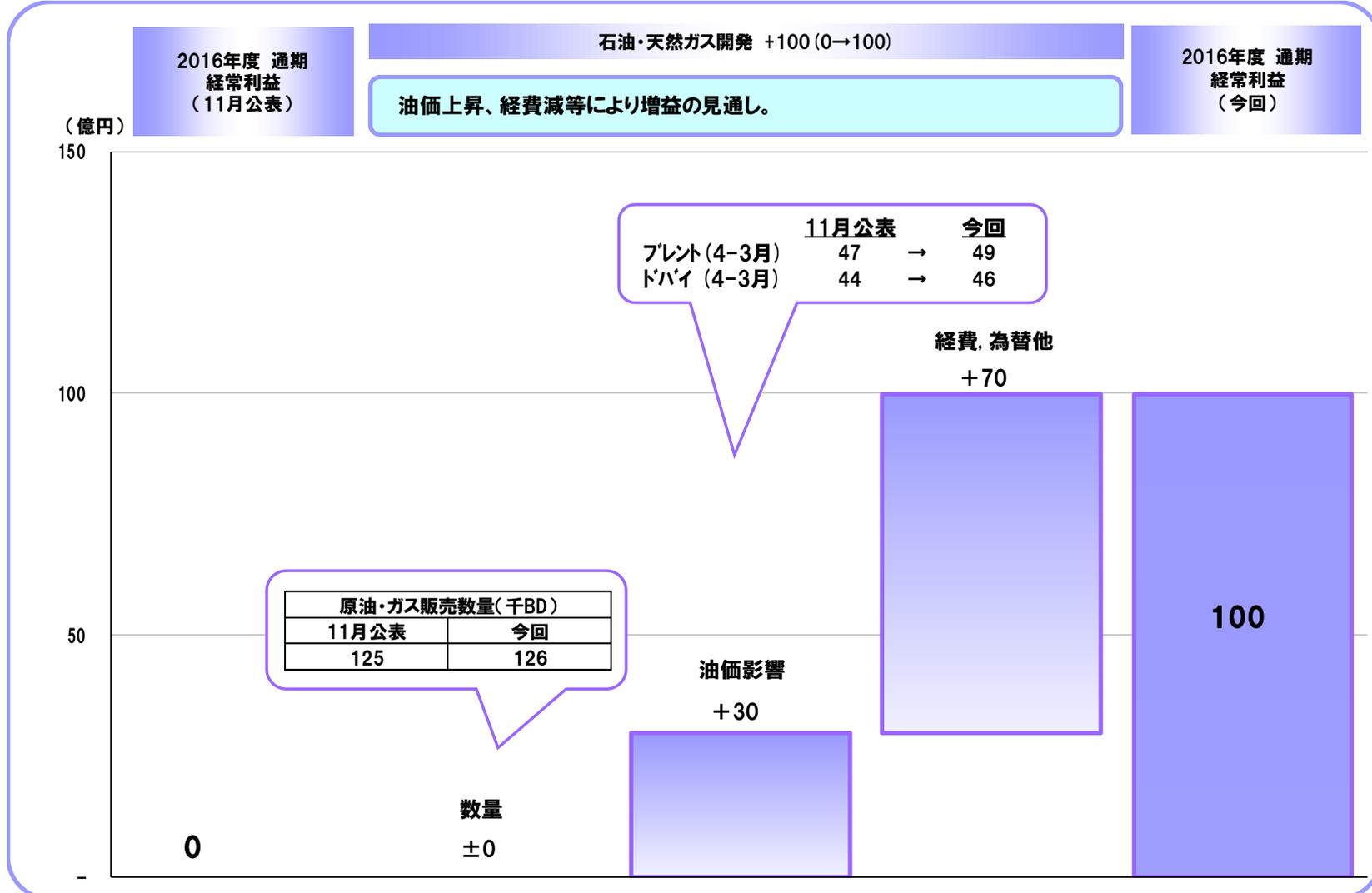
2016年度 通期見通し セグメント別経常利益(前回見通し比)

	2016年度 通期見通し (11月公表)	差異	2016年度 通期見通し (今回)	(参考) 2015年度 通期実績
	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)
エネルギー事業	1,650	+600	2,250	▲971
(うち在庫影響)	(450)	(+600)	(1,050)	(▲2,638)
在庫影響除き	1,200	-	1,200	1,667
(うち石油製品)	(640)	(▲140)	(500)	(891)
(うち石油化学製品)	(560)	(+140)	(700)	(776)
石油・天然ガス開発事業	0	+100	100	282
金属事業	150	+30	180	133
(うち在庫影響)	(50)	(-)	(50)	(▲57)
在庫影響除き	100	+30	130	190
(うち上流)	(▲300)	(▲5)	(▲305)	(▲242)
(うち中下流)	(400)	(+35)	(435)	(432)
その他	500	▲30	470	470
経常利益 計	2,300	+700	3,000	▲86
在庫影響除き	1,800	+100	1,900	2,609

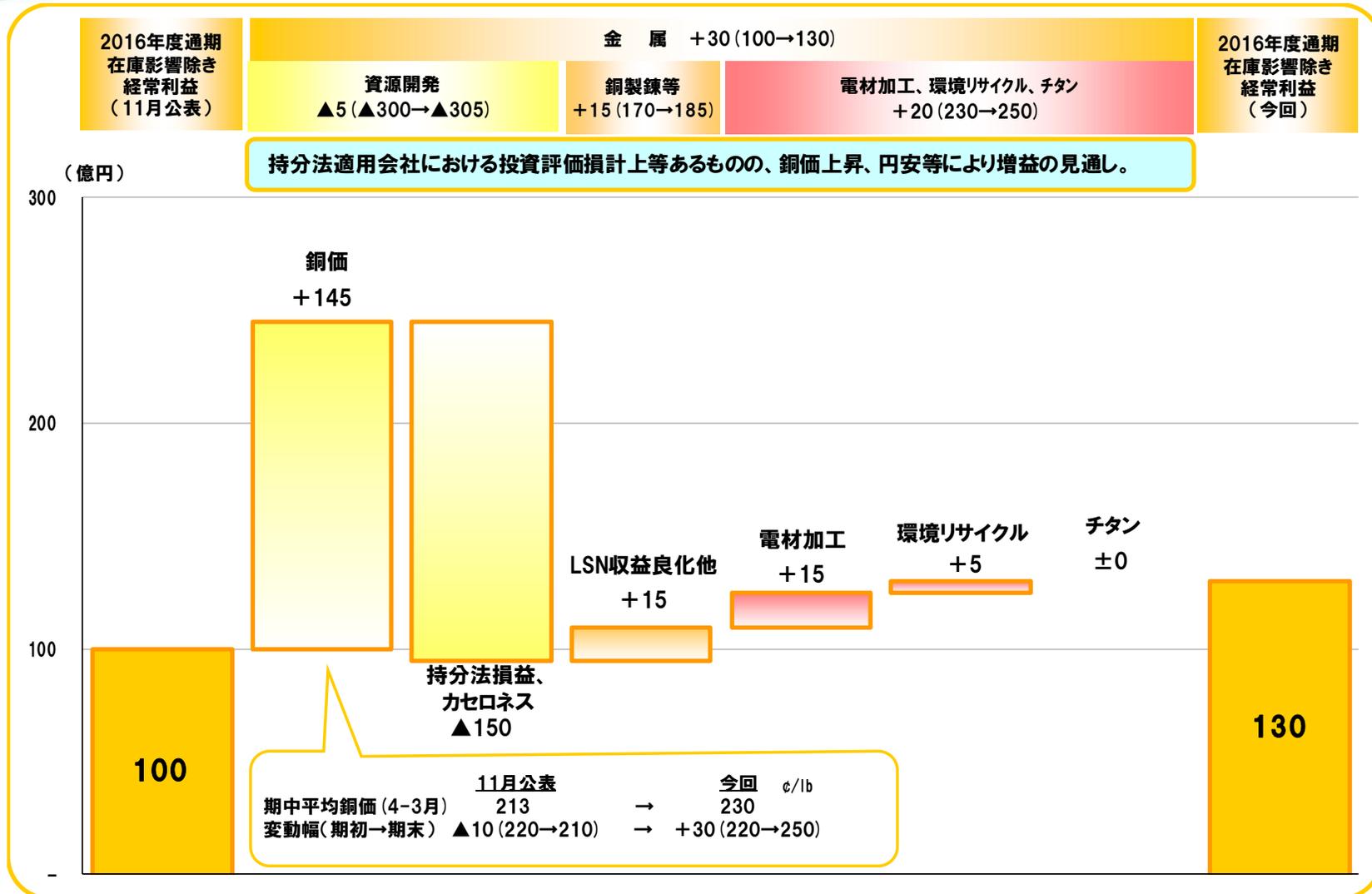
2016年度 通期見通し エネルギー事業 経常利益増減(前回見通し比)



2016年度 通期見通し 石油・天然ガス開発事業 経常利益増減 (前回見通し比)



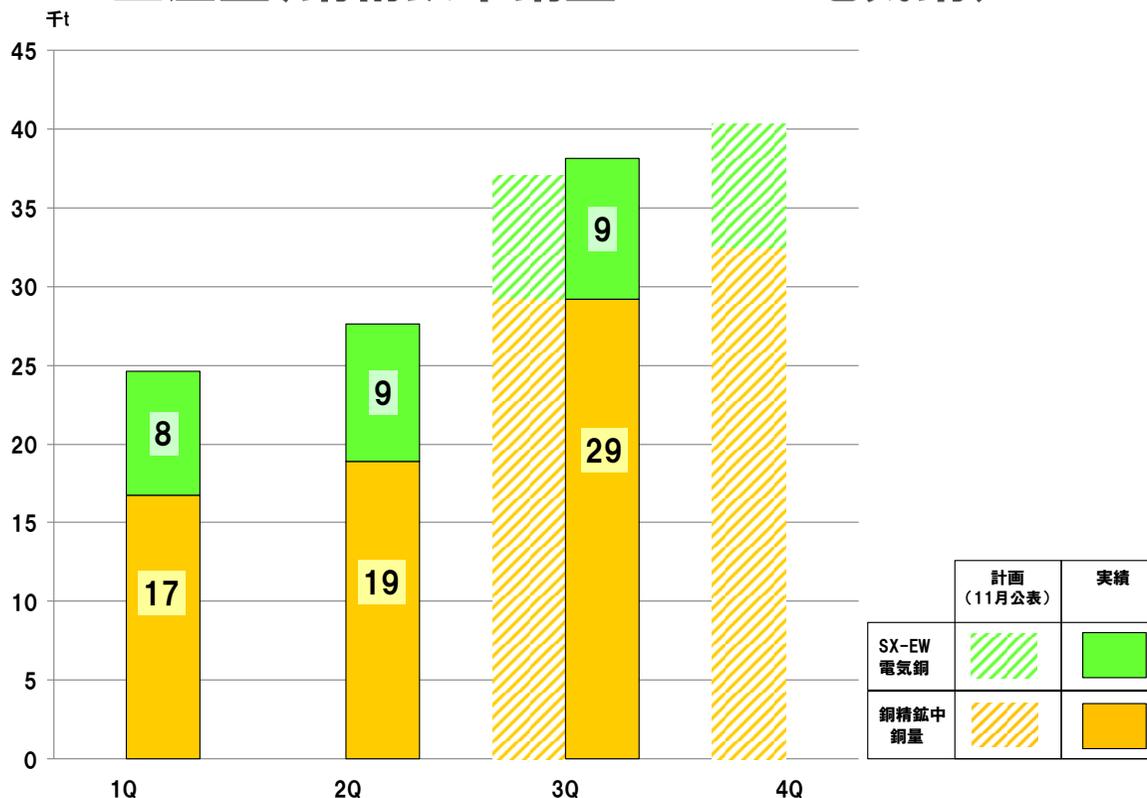
2016年度 通期見通し 金属事業 経常利益増減(前回見通し比)



カセロネス銅鉱山の状況

- ✓ 第3四半期は、第1・第2四半期から大幅に改善（11月公表計画通り）
- ✓ 引き続き、改善計画を着実に実行

生産量(銅精鉱中銅量・SX-EW電気銅)



2016年度の基本方針

経営資源配分、キャッシュフローの管理・創出

設備投資

- 設備投資の圧縮
設備投資額(資産売却額ネット後)を減価償却費の範囲内に抑制
- 中下流事業への投資配分のシフト
- 年度ごとのキャッシュアウトの平準化によるリスクの分散

バランスシートの改善

- 投資抑制、資産売却の加速によるバランスシートの改善・スリム化

各事業の基本戦略

- 上流事業 : 選択と集中による設備投資の削減と事業再構築
カセロネスを中心に投資実行済み案件からの確実なリターンの確保
- 中下流事業 : 効率化・コスト削減の徹底による既存事業の収益力強化
技術立脚型事業の育成

2016年度の取り組み (3Qにおける進捗)

経営資源配分、キャッシュフローの管理・創出

設備投資の圧縮・資産売却は、計画通り実行

各事業における取り組み

東燃ゼネラル石油との経営統合契約を締結、公正取引委員会から排除措置命令を行わない旨の通知を受領、臨時株主総会において経営統合承認

エネルギー

- 既存事業の収益力強化
- 次世代の柱となる事業の育成
- 技術立脚型・高付加価値製品の取り組み強化



- サプライチェーンの効率化、輸出等による需給適正化対応
- ベトナム ペトロリメックス社との戦略的協業契約の締結、同社への出資
- マレーシア ペトロナスとの戦略的パートナーシップ強化 (「ペトロナスLNG9」社への出資・LNG販売支援)
- 家庭用電力「ENEOSでんき」の販売開始

石油・天然ガス開発

- 選択と集中・事業再構築
- 収益性の向上



- 英国北海権益・オーストラリア権益の売却
- インドネシア タングーLNGプロジェクトの拡張
- コスト削減の上積み
- 米国CO2-EORプロジェクトにおけるCO2回収設備稼働開始

金属

- 既投資案件からのリターンの確保 (カセロネス)



- コンサルティング・ファームの導入による改善計画の策定・実行
- コスト削減・生産効率の改善の強化

主なトピックス(2016年4月～2017年1月)

JXHD

7月 第12、13、14回 無担保社債発行

■ 東燃ゼネラル石油株式会社との経営統合関連 ■

8月 経営統合契約等を締結

12月 公正取引委員会から排除措置命令を行わない旨の通知を受領

12月 臨時株主総会において経営統合承認

JXエネルギー

4月 電力小売自由化スタート、「ENEOSでんき」の販売開始

4月 韓国 大象(デサン)㈱とアスタキサンチン製造受委託契約を締結

4月 ベトナム ペトロリメックスとの株式引受契約および戦略的協業契約を締結

4月 KDDI㈱と電気事業における提携開始

6月 マレーシア「ペトロナスLNG9」社への資本参画実施、ペトロナスLNG社との販売支援契約締結

6月 川崎製造所 ポリイソブチレン(石油化学品)製造装置の能力増強の検討開始

8月 ポリプロピレン(石油化学品)メーカー サンアロマー㈱の株式を取得

8月 富山県、福井県、愛知県でのメガソーラー発電事業開始

12月 Dr.Driveセルフ七宝下田SSと古賀店において水素ステーションを開所

1月 マレーシア「ペトロナスLNG9」社 商業生産開始

主なトピックス(2016年4月～2017年1月)

JX石油開発

- 5月 英国北海カリーンガス田の権益を一部売却
- 6月 英国北海ウトガルドガス・コンデンセート田の権益を売却
- 7月 インドネシア タンゲーLNG拡張プロジェクトへの投資決定
- 8月 英国北海マリナー油田の権益を一部売却
- 12月 米国CO₂-EORプロジェクトにおけるCO₂回収設備稼働開始

JX金属

- 4月 世界最薄のチタン銅箔・コルソン合金箔を開発
- 9月 パンパシフィック・カッパー(株)佐賀関製錬所 操業開始100周年
- 10月 チリ バイオシグマ社の保有株式を譲渡
- 1月 中国 常州金源銅業有限公司の持分を一部譲渡

前提条件

	2015年度			2016年度		
	上期	3Q(累計)	通期	上期	3Q(累計)	通期
	実績	実績	実績	実績	実績	見通し (2月公表)
共通						
為替レート(円/ドル)	122	122	120	105	107	108
エネルギー						
ドバイ原油価格<年度>(ドル/バレル) *1	57	53	47	42	43	45
石油・天然ガス開発						
原油換算販売数量(千バレル/日) *2	116	118	121	118	125	126
ブレント原油価格(ドル/バレル) *2	58	55	53	46	47	49
金属						
銅価格LME<年度>(セント/ポンド)	256	245	237	216	224	230
銅鉱山権益生産量(千トン/期・年) *3	81	127	172	93	148	205
PPC銅販売量(千トン/期・年)	308	433	595	309	452	596
圧延銅箔販売量(千km/月)	5.1	4.8	4.9	5.0	4.9	5.0
精密圧延品生産品販売量(千トン/月)	3.8	3.7	3.7	3.9	4.0	3.9
環境リサイクル金回収量(トン/期・年)	3.5	5.0	6.4	2.7	3.8	5.7

*1 到着ベース

*2

	2015年度	2016年度
上期	1-6月	4-9月
3Q(累計)	1-9月	4-12月
通期	1-12月	4-3月

*3

	12月決算会社	3月決算会社
上期	1-6月	4-9月
3Q(累計)	1-9月	4-12月
通期	1-12月	4-3月

感応度

■前提条件(2017年1月以降)

為替:110円/ドル

原油:50ドル/バーレル
(ドバイスポット)

銅価:250セント/ポンド

■市況変動による2016年度経常利益への影響額(第4四半期3ヶ月間への影響額)

項目	変動幅	変動項目	(億円) 影響度	
為替レート	5円/ドル 円安	エネルギー(燃費増、石化マージン良化、為替換算差等)	(+)	10
		石油・天然ガス開発	(+)	5
		金属(マージン良化、為替換算差等)	(+)	5
		小計	(+)	20
		在庫影響	(+)	140
		合計	(+)	160
原油FOB (ドバイスポット)	5ドル/バーレル 上昇	エネルギー(燃費増等)	(-)	10
		石油・天然ガス開発	(+)	20
		小計	(+)	10
		在庫影響	(+)	320
		合計	(+)	330
銅価(LME)	10セント/ポンド上昇	金属	(+)	30
		合計	(+)	30

将来見通しに関する注意事項

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況またはエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
 - (2) 法律の改正や規制の強化、
 - (3) 訴訟等のリスク など
- が含まれますが、これらに限定されるものではありません。